

## 今年のにほんごコンテスト 2024 総評

2024年3月8日

今年のにほんごコンテスト選考委員長 山口 諡司 拜

本年度は、五十音図の「あ」段、頭韻「あ」の言葉（「あかさたなはまやらわ（濁音も含む）」）を募集した。

一般の部 886 点、小中学生部 57 点と、例年に比べて3分の1程度の応募しかなかったことは残念である。

ただ、本年1月1日に起こった能登大震災の影響が大きかったことは否めない。石川県の人たち、また多くの被災者を受け入れて御世話をされる山代温泉の方々のご苦勞を考えると、1月1日以降のコンテスト応募や勧誘などできる状態でなかったことは明らかである。

大きな被害をもたらした大震災を乗り越えるためには、みんなで声を掛けあって共振し、共感しあうことが大切である。そして、そこには必ず「ことば」がある。

心の籠もった言葉、温かい言葉、優しい言葉、日本語の持つ美しい響き、あらためてこうしたことを考えながら、復興のために来年度の「今年のにほんごコンテスト」への意欲にしたい。

本年、3月16日には北陸新幹線が延伸開業する。「かがやき」も一日に2往復停車とのこと。全国から、多くの方が「九谷焼きの郷、また、あいうえおの郷、山代温泉」を訪れることになるであろう。

本年一般の部の首席に「かがやき」が選ばれたこと、またその応募者の言葉に「石川県加賀国が早くかがやきますように」という言葉が添えられていたこと、皆の思いを表したものと思われる。

また、小中学生の部では「あたらよ（可惜夜）」が首席になっている。「夜、日本庭園を見たとき、月と星が輝き、草木が照らされていて、昼と異なる風情を感じました」とある。日本的情緒が次第に忘れられている今の時代、あらためて我が国の先人たちが大事に守ってきた伝統文化の意味を考えてみたい。

来年は「い」段で始まる言葉で「今年のにほんごコンテスト」を開催する予定です。来年こそ、再び3000点の応募を目指して、がんばりたいと思います。

皆さまの御協力、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

以上